



明石市立
文化博物館

文化博物館だより 第155号

2007年4月23日

みなさん、こんにちは。もうすぐGWですね。GWの予定はたてましたか？文博では春季特別展 山種美術館所蔵『華麗なる美人画の世界』展を開催中です。新緑の明石公園をお散歩がてら、文博で絵を見ながら過ごしてみませんか。

● 十二単・鎧の着付け体験が再開されます。

大人気の十二単・鎧の着付け体験は、衣装の修理のためにお休みしていましたが、いよいよ5月から再開されます。緑色の単も新調され、先日、試着会がありました。

十二単のモデルとなった学芸員の矢野さんは「ボランティアの方のテキパキとした着付けに感動しました。じょじょに着せてもらったので、そこまで着物の重みを感じませんでした。脱いだ瞬間肩がとても軽くなって、『昔の人はこんなに重いものを着ていたのか』とびっくりしました」と驚きを語っていました。

鎧姿の藤尾さんは「はじめて甲冑を着てみました

(着せてもらいました)。気分は戦国武将・・・と言いたい

ところですが、想像以上に重くてビックリ！しかも結構蒸します。これを身に付けて真夏に合戦に赴く武士は大変だったんだろうな、と考えてしまいました。それにしても似合っていますかね？」とポーズをとりながら鏡をチェック！



はい、ポーズ！



もう1ポーズ！



2人がかりで着せてもらいます



どんどん重ねていきます

着物は腰紐や帯で締めますが、十二単は腰紐も帯もしないので(上の写真で黄色の腰紐を締めていますが、上の着物を重ねると引き抜きます)意外に苦しくないものです。十二単と着物の違いは枚数だけかと思っていましたが、実際に着せてもらうと、枚数だけでなく構造が違うことが分かります。皆さんも是非体験してみてくださいね。受付は毎月初日に電話で受け付けます。先着順なので、定員に達したときは、また翌月にチャレンジしてくださいね。